

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和5年9月27日(2023.9.27)

【国際公開番号】WO2023/074432
 【出願番号】特願2022-570174(P2022-570174)

【国際特許分類】
 C 0 7 D 2 2 3 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 G 6 9 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】
 C 0 7 D 2 2 3 / 1 0
 C 0 8 G 6 9 / 1 4

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年3月3日(2023.3.3)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

20

【請求項1】

少なくとも0.3MPa以上の加圧下、少なくともポリアミド6を含む樹脂組成物(A)と、290以上350以下に加熱されたポリアミド6オリゴマー水溶液(C)を接触、または少なくともポリアミド6を含む樹脂組成物(A)と290以上350以下に加熱されたポリアミド6オリゴマー水溶液(C)に加え、さらに290以上350以下に加熱された水(B)を添加して接触させることを特徴とする、-カプロラクタムの製造方法。

【請求項2】

少なくともポリアミド6を含む樹脂組成物(A)と、290以上350以下に加熱された水(B)を添加し接触させて -カプロラクタムを製造する方法において、さらにポリアミド6オリゴマー水溶液(C)を添加することを特徴とする、請求項1記載の -カプロラクタムの製造方法。

30

【請求項3】

前記ポリアミド6オリゴマー水溶液(C)に使用するポリアミド6オリゴマーが、前記 -カプロラクタムの製造方法において副生するポリアミド6オリゴマーであることを特徴とする、請求項1または2に記載の -カプロラクタムの製造方法。

【請求項4】

前記ポリアミド6オリゴマーに含まれる線状2~12量体オリゴマー量が90質量%以上であることを特徴とする、請求項1または2に記載の -カプロラクタムの製造方法。

40

【請求項5】

前記 -カプロラクタムの製造方法において使用する、水とポリアミド6およびポリアミド6オリゴマーの合計の質量比をX:1、反応温度をYとした場合、XとYの積が2,000以下の条件で接触させることを特徴とする、請求項1または2に記載の -カプロラクタムの製造方法。

【請求項6】

前記少なくともポリアミド6を含む樹脂組成物(A)が、アルカリ金属ハロゲン化物を含むことを特徴とする、請求項1または2に記載の -カプロラクタムの製造方法。

【請求項7】

前記ポリアミド6オリゴマー水溶液(C)が、ポリアミド6製造時に生成物のポリアミ

50

ド 6 からポリアミド 6 オリゴマーを熱水抽出する工程で得られた抽出液であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の - カプロラクタムの製造方法。

【請求項 8】

前記少なくともポリアミド 6 を含む樹脂組成物 (A) が、少なくともポリアミド 6 を含有する樹脂成形体の廃棄物であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の - カプロラクタムの製造方法。

【請求項 9】

請求項 1 または 2 に記載の方法により - カプロラクタムを得て、ポリアミド 6 を重合するポリアミド 6 の製造方法。

10

20

30

40

50